

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	4月 22日(月)
コーポラティブハウス部会	4月 17日(水)
団地・マンション再生部会	4月 11日(木)
人と暮らし部会	4月 23日(火)
総務部会	
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

★プロジェクトニュース★

・コーポラティブハウス羽根木公園

3月24日(日)に建設組合設立準備会を開催、4月に建設組合を設立し、本格的に事業がスタートします。

引き続き参加者を募集しておりますので、お知り合いの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

・コープ協：シンポジウム開催

(NPOコーポラティブハウス全国推進協議会) 2月21日(木)、『街なか居住の再生に寄与する居住者参加の住まい・まちづくり手法を考えるー多様なコーポラティブ方式を目指してー』という活動テーマとして、今年度3回の連続公開講座の集大成として、シンポジウムを開催しました。

藤本昌也氏による、今後のコーポラティブ方式についての問題提起に始まり、杉山昇氏、三浦史郎氏、岡田昭人氏のこれまでの実践報告、また、コメントーターに住田昌二氏を迎えてのパネルディスカッションも行われ、とても有意義な時間となりました。

報告書を作成中ですので、ご希望の方は、コープ協事務局(Tel:03-6206-4558)まで。

としまち研通常総会のご案内

第13回通常総会を下記により開催いたしますので、ご多忙中とは思いますが、ご出席くださいますようお願いいたします。

記

日時：平成25年5月23日(木)18時30分～20時

場所：千代田区神田東松下町33番地 COMS HOUSE 2階 会議室

☆なお、総会終了後、懇親会を行います。議案等は別途ご案内いたします。

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

- 借入金があるが何か建替えの方法はあるか。
 - お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。
- というような難しいご相談も検討します。お気軽にご相談ください。

編集後記

『おいらのまち』を見返すと、10年もこの場所に私が文章を書いているなんて…月日が経つのは早いんですね(って私の年齢は考えないでください)。ここ最近は編集後記の行数が増えているような気がします。

今年は、桜があつという間に咲いてしまい、お花見に行くタイミングを逃してしまった方も多いのではないのでしょうか。お花見会のお知らせが何件か来ているのですが、桜の花が散ってしまっているのでは?というスケジュールです。皆さん「花より団子」ですかね? (事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員63人 賛助会員33人
編集発行人 比護彰彦
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第62号

おいらのまち

2013.3

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

宮城県東松島市：移転先の土地利用計画案を承認～次の展開へ～

去る2月15日(金)、東矢本駅北地区まちづくり整備協議会の第2回総会が開催され、移転先である東矢本駅北地区約22haの土地利用計画案が承認されました。

この土地利用計画案の承認に至るまでには、ワークショップ、検討部会、役員会を何回も行って意見交換をし、かつ、東矢本駅北地区まちづくり通信を4回発行して検討状況をお知らせして、協議会会員全体の意向把握に努めてきました。

とりわけ、コミュニティの再生・構築のために都市計画道路(大通り)からの車の出入りを制限する宅地決定、南北に長い街区の中ほどに自転車・歩行者道路を入れる決定など、新しいまちが、これから住む人々の使いやすいまちであるとともに、親から子へ、子から孫へ、受け継がれていくにふさわしい“暮らしやすいまち”をつくること確認されたものと感じています。

協議会は、一息つく暇もなく、宅地面積の増減調整と誰がどの宅地に入るかを定めるための区画決定ルール検討部会や、街並みのルールをつくるための街並み検討部会を中心として、次の展開がはじまっています。

3月16日(土)には、協議会会員など計62名がバス2台に分乗し、住宅団地の視察に行きました。宅地造成から10年以上経過した宮城県大崎市古川の「穂波の郷」、20年以上経過の利府町の「菅谷ニュータウン」、30年以上経過の七ヶ浜町の「汐見台ニュータウン」の3ヶ所を回り、うち2ヶ所の団地の町内会長さんのお話を伺い、新しいまちの街並み形成について、いろいろ考えるよい研修となりました。



「穂波の郷」視察中

震災復興は、「生業」と「住宅」と言われていますが、としまち研東日本大震災復興支援委員会に結集してくださっている会員のこれまでの経験と専門分野での知識を生かして、住宅分野での復興に精一杯取り組んできました。これからも協議会の皆さんと一緒に“暮らしやすいまち”づくりに取り組んでいく所存です。

東日本大震災を忘れることなく、被災者の復興支援を続けていきましょう。(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『レシピ』としまち研 三浦史郎

東松島へ生活(住宅)再建支援に出かける。夜7時からの会議が終わると、決まって宿舎にしている「としまち研東松島事務所」で“晩餐会”が始まる。スタッフが多いことと冬という季節柄、鍋になることが多いが、先日のメニューは「野菜焼き+パスタ」。シェフ(と呼んでいる石坂さん=次回登場=)が「焼く」にこだわった創作。ハサッと切ったニラとグリーンアスパラ、ピーラーでそぎ切りした繊維が心地よいゴボウ、薄切りジャガイモとなす、それにパスタ用に捌いたイカのワタと下足をフライパンで焼く。味つけに塩を振って食べると美味しい。タラコとイかを絡めたパスタも美味しい。



とある日の東松島での一コマ

帰宅して見たまま真似てみた。結婚42年で初めて台所で調理(と言えるかどうか?)したと言って家族が褒めてくれた。レシピという言葉が最近気になるようになった。毎回食材の買い物に付き合ううちに、自分をそんな風に変えてしまう場でもあったことに驚いている。

※次号の『ひとりごと』は石坂堅志さんです。お楽しみに。

一木会ご報告（原則、毎月第一木曜日に COMS HOUSE で行う勉強会・交流会です）

★第210回一木会（2013. 2. 14）

TOKYO PLAY 代表の嶋村仁志氏に「子どもの遊びから考えるまちづくり」というテーマでお話をいただきました。コミュニティの希薄化や管理責任など、現代社会における大人の様々な都合が子どもの行動範囲や遊びにも大きく影響していることがわかりました。



また、「ストリート・プレイ」など、身近な空間を利用して子どもも大人も一緒に楽しみながら人やまちを元気にする試みは、としまち研の取り組みでも大いに活用していきたい手法です。

★第211回一木会（2013. 3. 7）

定期借地権推進協議会運営委員長の大木祐悟氏に「定期借地権の基本と定期借地権を活用した震災復興」と題して、現在の定期借地権制度の概要と震災復興への活用などについてわかりやすくお話していただきました。



定期借地権は、近ごろあまり使われていないのでは・・・と思っていたのですが、いろいろな分野で見直されているようです。震災復興にも実際に使われていますので、今後に生かしていきたいものです。

今後の一木会予定

★4月（4月4日）【第212回一木会】★

（株）時事通信社 元上海支局長：宗澤寛氏 『素顔の中国人』

★5月（5月16日（予定））【第213回一木会】★

（株）ジェイアール東日本建築設計事務所

東京プロジェクト部 丸の内プロジェクト室：田原幸夫氏 『(仮題) 東京駅の復元設計』

（仮称）九段南コーポラティブハウスⅡ新築工事 地鎮祭の建設組合理事長レポート

2月17日（日）、朝、快晴、寒風、底冷えの中、直会会場に集合も手違いで入れず、九段地区の先輩、「坂の上テラス」の和菓子宝来屋本店さんに避難させて戴く、ありがたい。

ご近所への挨拶を済ませ現地へ、神事に向け手水をとるがこれが冷たい。

鍬入れ役を拝命し気合でコートを支に持たせる、テントに暖も入っていたが、修業が足りず心頭滅却すれど底冷え寒し、なさけない。



理事長鍬入れの様子

いざ鍬入れでは、力みすぎて危うく注連縄を断ち切るところだった、やばい。

その後、関係者の皆様は順調に玉串を奉じ、無事に地鎮祭終了、うれしい。

さあ直会だと会場に入ると、九段二丁目町会の皆様と「坂の上テラス」の皆様で、すっかり準備を整えていただいていた、申し訳ない、ありがたい。

イベント委員長の司会で、乾杯は町会長でもいらっしゃる副理事長の高らかな音頭で、大勢の子供たちもかわいい声でカンパニー。



地鎮祭終了後の集合写真

会は進み、皆様よりご挨拶を戴き、銘酒「建設組合」は旨い。

あっという間に中締め時間となり、会計理事の音頭でチョチョチョン×3+チョンで一本締め、かっこいい。

そのあと残って数時間にも及ぶ二次会で男子会結成。

亀の子のように歩き出した九段南Ⅱは全組合員が決まって竣工へ向けてGO！

（九段南コーポラティブハウスⅡ建設組合理事長 岡本賢治）



直会にて：小林さんの乾杯！

御神輿担ぎませんか～神田祭～

東日本大震災から2年が経過しました。2年前は中止になりましたので、実に4年振りの祭りです。としまち研事務所のある神田東松下町の氏神様は柳森神社ですので、御神輿の宮入もほとんどの御神輿が行く神田明神ではありませんが、手づくり風で、アットホームな感じのお祭りになります。

ご承知の方も多いと思いますが、東松下町の御神輿は、“大神輿”というにふさわしいとても大きくて立派なものです。また、子ども神輿や山車もありますので、一家で、あるいはお友達にも声をかけて、神田までお出かけくださるようご案内します。

半てんを貸し出しておりますし、今年から子供用も用意する予定です。また、お弁当や子ども用のお菓子なども用意しております。

日程：5月11日（土）午前11時～

5月12日（日）午前10時～

集合：としまち研事務所（神酒所前へ）

※準備の都合がありますので、参加いただける方は、4月30日までに、としまち研事務所までご一報ください。

（東松下町々会総務部長 杉山昇）



入谷南部まちづくり協議会 防災まちあるきを開催

平成18年から運営のお手伝いをしてきた台東区『北上野ゆめのまちづくり協議会』は、平成23年より、北上野地区だけでなく、近隣の6町会が一緒になり、「入谷南部地区における景観、魅力づくりや防災への取り組み」を目的として、『入谷南部まちづくり協議会』に発展し、としまち研は、引き続きまちづくり相談員としてお手伝いをしてきました。



まちあるきの様子

3月23日（土）、今年度の締めくくりとして災害時の避難経路やまちの危険個所の確認をするための防災まちあるきを開催。当日は約20名の協議会会員が参加されました。

まちあるきの後に行われた意見交換会では、「古い木造が並び通りは火事が心配」、「災害時、協議会で食糧を供給できるよう、スーパーと提携してはどうか」などさまざまな意見が出ました。としまち研からは、まちの防災対策の観点から、共同建替えの事例を紹介しました。

協議会の皆さんと実際にまちの中を歩いてみて、改めてまちの安全性について再確認するよい機会となりました。（としまち研事務局 佐藤しおり）



まちあるき後の意見交換会

ロイアル一番町 第2回大規模修繕工事を終えて

一昨年の10月に始まった大規模修繕コンサルタント業務も、今年2月に修繕工事が完了し、竣工報告書の提出を残すのみとなりました。

ロイアル一番町は、地下鉄半蔵門線の半蔵門駅近く、交通量も人通りも多い二つの道路に面しているため、修繕工事を進める際には、工事車両の駐車等が制限されたり、外部足場架けに工夫が必要等の苦労がありましたが、工事会社の頑張りもあり、事故もなく無事に終えることができました。

また、工事予算に余裕が生じたこともあり、理事会で、修繕工事だけでなく、エントランス部分等の改良工事を行うことも決める等、マンションの方々にとって大変充実した改修工事ができたものと思っております。

工事が終わった後、お一人の理事から、「バルコニーが以前と比べ本当にきれいになったし、屋上緑化も行うことができてとても良かった。」という言葉をいただきました。あっという間の1年半でした。

（としまち研理事 渡辺昂有）



完了検査の様子